

全体評価（案）

評価結果

全体として年度計画及び中期計画のとおり順調に進捗している

大項目評価及び小項目評価

項目	評価 項目数	ウェイトを考慮した 項目数	小項目評価					大項目評価
			5	4	3	2	1	
第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上	14	23		4	19			A 順調に進んでいる
第2 業務運営の改善及び効率化	5	7		1	6			A 順調に進んでいる
第3 財務内容の改善	6	10		2	8			A 順調に進んでいる
第4 その他業務運営に関する重要事項	3	4			4			A 順調に進んでいる
合計	28	44		7	37			

* 評価項目の中で、「市民病院としての公的役割を果たす上での重要項目」及び「平成26年度計画重点項目」についてウェイトを2としている。

* 小項目評価

- 5・・・年度計画を大幅に上回って実施。
- 4・・・年度計画を上回って実施。
- 3・・・年度計画を順調に実施。
- 2・・・年度計画を十分に実施できていない。
- 1・・・年度計画を大幅に下回っている。

* 大項目評価

- S：中期目標・中期計画の達成に向けて、計画を大幅に上回り、特に評価すべき進捗状況にある（評価委員会が特に認める場合）
- A：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる（すべての項目が3～5）
- B：中期目標・中期計画の達成に向けておおむね順調に進んでいる（3～5の割合が9割以上）
- C：中期目標・中期計画の達成のためにはやや遅れている（3～5の割合が9割未満）
- D：中期目標・中期計画の達成のためには大幅に遅れている又は重大な改善すべき事項がある（評価委員会が特に認める場合）

判断理由

第2期中期計画の1年目となる平成26事業年度も、理事長、院長以下職員が一丸となり、中央市民病院は、市全域の基幹病院として、西市民病院は、市街地西部の中核病院として、地域医療機関との連携及び役割分担のもと、市民の生命と健康を守るという役割を果たすとともに、地方独立行政法人のメリットを活かし、業務実績を伸ばした。

中央市民病院においては、ECMO^{*1} チームを結成して体制を整備し治療を行ったこと、エボラ出血熱等の新興感染症に対する対応、手術支援ロボット「ダヴィンチ」^{*2}やTAVI（経カテーテル大動脈弁治療）^{*3}等の高度医療機器の本格運用を開始するなど、西市民病院においては、24時間365日の救急医療体制の継続、神戸市災害対応病院の指定、ベトナム・ダナン産婦人科・小児科病院の人材育成のための教育支援プログラム^{*4}を無事終了するなど、また、共通項目としては、自己啓発等休業制度の新設、職員満足度調査の実施など、両病院とも病院機能の向上に向けた適切な取り組みはもちろん、人材の育成や研修、職員のモチベーション向上などにも力を入れていることについては評価できる。

さらに、診療報酬改定や消費税の改正等、病院を取り巻く環境が急激に厳しさを増す中、経営の面では、新たな診療報酬加算の取得等により、医業収益を確保したほか、診療材料の価格交渉や薬価交渉の強化による費用の合理化により、平成26年度決算においては、経常損益について法人全体として、黒字を確保した。

このように、地方独立行政法人化以降も、引き続き、救急医療や高度・先進医療等の政策的医療も含め質の高い医療を安全に市民に提供するという市民病院としての役割を果たしており、以上の実績を総合的に考慮し、平成26事業年度の業務実績に関する評価については「全体として年度計画及び中期計画のとおり順調に進捗している」とした。

なお、これまで以上に効率的かつ効果的な体制及び組織の構築に取り組むとともに、更なる収益の確保、費用の抑制に努め、健全な経営基盤を確保し、市民病院としての役割を維持できるよう、より一層努めていただきたい。

※1 E C M O (Extracorporeal Membrane Oxygenation・体外式膜型人工肺)

患者から体外循環ポンプで脱血し、人工肺で酸素化と二酸化炭素の排出を行い、熱交換器で加温して患者へ返血するシステムのこと。肺機能が低下した人に対して行う救命手段。

※2 手術支援ロボット「ダヴィンチ」

3次元立体画像（3D画像）や、繊細な鉗子の動きにより従来の手術よりも正確性、安全性、低侵襲性の向上が期待される。平成24年4月より前立腺悪性腫瘍手術において使用した場合のみ保険適用が認められた。

※3 T A V I (Transcatheter Aortic Valve Implantation・経カテーテル大動脈弁治療)

心臓弁膜症の患者に対して、胸を開かずカテーテルを使って人工弁を心臓に装着する治療法。高齢で外科的手術が困難な患者等が適応となる。

※4 ベトナム・ダナン産婦人科・小児科病院の人材育成のための教育支援プログラム

ベトナム中部の中心都市であるダナン市は、出生率が高く、かつ、周辺部から流入人口が多いため、人口増加率が全国平均を上回り、医療分野においては産婦人科・小児科の需要が大きい。ダナン産婦人科・小児科病院では、看護師・助産師の知識・技術の不足や人手不足等により、患者に対する十分な看護体制が整備されていない。そこで、平成24年4月から3年間ダナンの産婦人科・小児科病院の人材育成を実施しており、西市民病院、神戸市立看護大学、関西福祉大学が支援チームを組織し、効果的な事業推進を図るため、看護師等の派遣や研修員の受入れを行った。